

寒波が来た

冬を二世の9か と心配になる 朝七時

工了ここをに入れていゝか 二十一度か

エフ丁来り

ズトーアをハハ瓦が やはり寒い

はぶる物を着ていゝ

今年日寒さ水早く来た

柿木寒さ上なれたいやいのだ と思つていゝ

水 寒さけおなりフアいていゝ

今年日倒羊よりさせいりかむしとなり

布製はすつわり冬甲は行つていゝ

あといどううたはふいりか

去年すを 冬ビウうけたましして来たが

思い出していゝ

特別なこと付 していなかつた

同年舎の取運か よく言つていゝ

ウリエツクへ行く

さすの瓦まうたお年ですわ

いふも同じ三と古言りぬ腹が立つらぬと

この寒いと感していゝお年ですわに在るの

てあまろうか

とすると毎年、さむさむ、年をとるとまじ

ことになり

あるか夕口がさびると

暖温帯、ほわく、暮わつ、といかたも

この暖をまると、あはたむけに原る、祀事、あ

あま

寒さ、紅葉、必要、あま、あま

が、暖、温暖化、そして、寒波

地球、木、病、あま、あま

地

そこは、ほんご、11、人間、木、病、あま、あま

2021
10/29